

社協だより

No.146
令和2年10月1日
発行

はんど ♡toはんど



右のスクリーン
には生徒の顔が
写っているよ。
詳しくは
P.10を見てね!

▲ ZOOM を使った
オンライン授業の様子
(筑波大学附属坂戸高校)



今号の話題

- ② 評議員及び役員の紹介
- ③ 令和元年度事業報告
- ④ 令和2年度の主な事業状況
介護予防「脳トレ」問題集を配布します
災害ボランティアに関するお知らせ
- ⑤ 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金
- ⑥~⑦ 令和2年度 歳末たすけあい事業助成申請
- ⑧ 市民後見人養成講座
- ⑨ 心配ごと相談所、寄附、広告
- ⑩~⑪ 福祉教育・ボランティア学習
- ⑪ クリップボード
- ⑫ 福祉であいの広場2020中止のお知らせ
坂戸市内の福祉作業所の紹介

社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会

☎ 049-283-1597

FAX 049-289-3911

※電話・FAX 番号を確認のうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

HP <http://sakadoshakyou.jp>

坂戸市社協

検索

社会福祉法人坂戸市社会福祉協議会 評議員名簿

・評議員23名 (任期：平成29年4月1日～令和3年定時評議員会) 令和元年10月15日現在

No	氏名	選出区分	No	氏名	選出区分
1	山崎 のり子	地域住民の代表(三芳野地区)	13	伊藤 丈浩	社会福祉事業者の代表(坂戸サークルホーム)
2	関原 勝	// (勝呂地区)	14	高橋 キミ子	ボランティア団体の代表(あしたば)
3	松村 三千代	// (坂戸地区)	15	佐竹 智雄	市民活動団体の代表(NPO法人いきいき市民連絡会)
4	金子 輝夫	// (入西地区)	16	松丸 とし子	社会福祉関係団体の代表(更生保護女性会)
5	小鹿野 幸彦	// (大家地区)	17	井指 哲次	当事者団体の代表(身体障害者福祉会)
6	畠中 重徳	// (公団東坂戸団地自治会等)	18	里見 専次	当事者団体の代表(視覚障害者の会)
7	坂本 尊夫	// (北坂戸団地自治会)	19	丸山 元孝	関連機関・団体の代表(医師会・歯科医師会)
8	金治 昌義	// (第一住宅坂戸団地自治会)	20	三島 康弘	関連機関・団体の代表(自主防災組織連絡協議会)
9	飯泉 利子	// (若葉台第一住宅管理組合自治会)	21	市原 真一	関連機関・団体の代表(市行政・福祉部長)
10	宮下 清美	// (花みず木町内会)	22	清水 満夫	関連機関・団体の代表(教育委員会・教育部長)
11	竹内 儷子	// (鶴舞自治会)	23	若狭 衛	学識経験者
12	中尾 セツ子	// (西坂戸自治会)			

社会福祉法人坂戸市社会福祉協議会 役員(理事・監事)名簿

・理事14名 (任期：令和元年定時評議員会～令和3年定時評議員会) 令和2年6月25日現在

No	役職	氏名	選出区分
1		青木 繁	地域住民代表 (三芳野地区)
2		岸野 晴雄	地域住民代表 (坂戸地区)
3		町田 早苗	地域住民代表 (入西地区)
4	会長	新井 勇	地域住民代表 (勝呂地区)
5		田中 浅男	地域住民代表 (大家地区)
6		栗原 初夫	市区長会長
7	副会長	佐藤 和恵	民生委員・児童委員協議会連合会会長
8	副会長	末森 克彦	福祉関係NPO法人の代表者 (NPO法人ケアピーぷる)
9		須田 正子	ボランティア活動を行う団体の代表者が推薦した者 (ボランティアアドバイザー)
10		改田 剛俊	社会福祉施設の代表者が推薦した者 (介護老人保健施設すみよし)
11		久保田 利明	社会福祉に関係のある団体の代表者が推薦した者 (保護司会)
12		馬場 敏雄	福祉団体(当事者団体)の代表者が推薦した者 (老人クラブ連合会)
13		楠本 圭司	行政関係者 (坂戸市総合政策部長)
14		野口 達雄	社会福祉事業の経営に関する学識経験を有する者

・監事3名 (任期：令和元年定時評議員会～令和3年定時評議員会) 令和2年6月25日現在

No	氏名	選出区分
1	久保市浩一	社会福祉事業について学識経験を有する者
2	河端 幸男	財務諸表等を監査し得る者 (NPO法人ぽてとto地域福祉の会)
3	鈴木 光一	行政関係者 (坂戸市会計管理者)



坂戸市から表彰を受けました

この度、末森副会長が、長年に渡って地域の社会福祉活動に尽力した功績が認められ、坂戸市から市政功労者等表彰を受けました。

令和元年度事業報告

令和元年度の事業概要や決算状況が令和2年6月25日に評議員会で承認されたので、重点事業や、新たに取り組んだ事業を中心に報告します。

なお、令和2年度の評議員会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、書面による決議となりました。

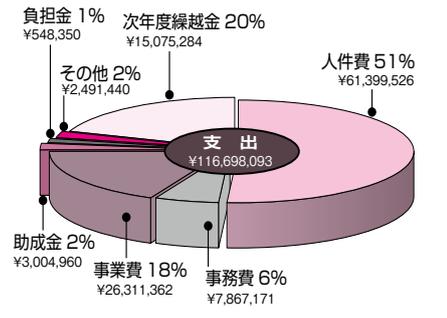
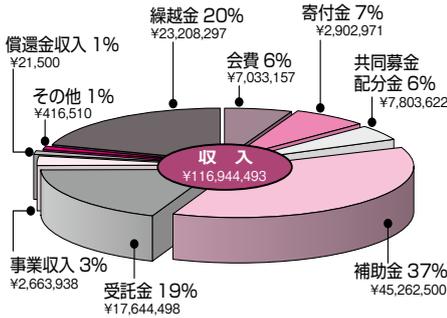
● 会員募集

6、7月を強化月間とし、多くの市民・団体・企業の皆様にご理解をいただき会員となっていただきました。

● 社会福祉協議会だより「はんどはんど」の発行等

本会広報紙「はんどはんど」

令和元年度 会計決算



を年3回発行しました。主要事業や地域福祉情報を掲載し、全世帯に配布しました。また、ホームページを随時更新し、携帯電話で対応可能なモバイル版の情報発信を行うとともに、フェイスブックのページを開設しました。

● ふれあい・いきいきサロン推進事業

地域で暮らす誰もが孤立や閉じこもりにならないよう、近隣での交流・ふれあいの活動を目的としたサロンを支援するため、登録した24団体に助成金を交付しま

● 坂戸市福祉センター施設管理運営事業

地域に密着した福祉の拠点として、会議室等を福祉団体や各種市民団体へ貸し出し、延べ6,859人の利用がありました。

● 災害ボランティアセンターの設置

台風19号の上陸により、坂戸市内でも大きな被害を受けたことから、災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアを派遣して、浸水した被災者宅等の家財道具の撤去等の活動を行いました。延べ778人の方がボランティア活動を行いました。

● 生活支援コーディネーターの配置

坂戸市からの委託により生活支援サービス体制の構築を図るため、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービス体制の推進を図りました。

● 法人後見事業

認知症、知的障害、精神障害等の理由により判断能

力がほとんどない方で、他に適切な後見人が得られないものに対し、坂戸市社協が後見人を受任し、後見活動を実施することとし、3件の受任がありました。

● 福祉サービス利用援助事業の推進

生活のさまざまな場面で権利を侵害されやすい認知症高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができよう、生活支援員が金銭管理、書類預かりなど延べ178回対応しました。

● 心配ごと相談所事業

悩み、困りごとを持つ市民が無料で相談できる窓口として、地域ごとに延べ65回開設し、63件の相談に対応しました。

● 福祉資金等貸付事業

民生委員・児童委員や関係機関との連携の下に、生活福祉資金貸付、緊急生活援護、生活つなぎ資金貸付を決定し、必要な援助を行いました。

● ボランティア体験プログラム事業

体験的に福祉について学び、ボランティア活動を始

めるきっかけづくりとする事業を関係機関・団体との協働の下に展開し、延べ291人の方が体験しました。

● 福祉教育推進事業

「子どもの豊かな成長を促すための福祉教育」と「地域福祉を推進するための福祉教育」の2つの側面から講座や研修会を企画し、開催しました。

● さかどふれあいサービス事業

日常生活を営む上で援助等の必要がある方に対して、住民相互の助け合いによる会員制、有償による家事援助サービスを実施し、延べ939回の利用がありました。

● 共同募金運動の推進

令和元年10月1日から「赤い羽根共同募金運動」、12月1日からは「歳末たすけあい運動」を実施し、皆様からいただいた募金を「はんどはんど」の発行や「ふれあい・いきいきサロン推進事業」、「車椅子貸出事業」、「障害者等移送車の貸出事業」等へ適切に配分し、事業を展開しました。

令和2年度の主な事業状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、講座や事業等を中止としましたが、緊急事態宣言解除を受けて、コロナ対策を行い、順次再開しています。

◆特別貸付事業（緊急小口資金・総合支援資金）

支給しています。

新型コロナウイルスの影響による収入の減少で、生活資金にお困りの方に対して、生活費の貸付業務を行っています。

◆ボランティアサロン

・ボランティアサロン（年内中止）

・出張ボランティアサロン
8月からアルコール消毒等のコロナ対策を行いながら再開しています。

◆ふれあい・いきいきサロン事業

再開するサロンに対して、チェックリスト・ハンドソープ・消毒用アルコールの配布をしています。

◆心配ごと相談所

市内公共施設の利用が再開されたことで、7月からアルコール消毒等のコロナ対策を行いながら相談を再開しています。

◆ふれあいサービス

一部支援を再開し、協力会員には、マスク・手袋・携帯用アルコールを



介護予防「脳トレ」問題集を配布します

新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えている高齢の方に、自宅でできる介護予防に活用してもらつたため、「脳トレ」の問題集「つくつく便」を、筑波大学附属坂戸高校の生徒のみなさんが作成してくれました。

ご希望の方は坂戸市社会福祉協議会（283・1597）までご連絡ください。無料で配付いたします。



災害ボランティアに関するお知らせ

開催を予定していた災害ボランティアセンター設置訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束されないことから、中止いたします。

地支援ボランティアは、コロナの流行状況や受入先の意向を踏まえながら、実施する場合はHP等でお知らせします。

また、災害が発生した場合の被災





赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力お願いいたします



共同募金運動は、誰もが住みよい地域づくりを進めていくために行われる募金運動です。

皆様から寄せられた善意は、埼玉県共同募金会に一度集められ、県内の福祉団体や施設、地域で行われている活動、被災地支援などに活用されています。

今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

※寄附金には税制上の優遇措置があります。

赤い羽根共同募金

坂戸市令和2年度目標額 **9,369,000円**

令和元年度、皆様からお寄せいただいた募金額は
6,681,707円でした。



ご協力ありがとうございました。

歳末たすけあい募金

坂戸市令和2年度目標額 **3,952,000円**

令和元年度、皆様からお寄せいただいた募金額は
3,693,608円でした。



赤い羽根のホームページ www.akaihane.or.jp

ホームページで、赤い羽根共同募金の活動内容がわかります。

令和2年度 歳末たすけあい募金の配分事業の 助成申請を受け付けます

新たな年を迎える年末の時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい募金の配分事業を次のとおり実施します。

事業により、対象者や申請時期が異なりますのでご確認ください。

また、助成金につきましては、重複した申請ができませんのでご注意ください。

1 歳末慰問品配布事業

低所得（住民税非課税）の世帯を対象に、「お米券」の配布を行います。

- *対象者 低所得(住民税非課税)の世帯（生活保護世帯は対象外）
※住民票上の世帯分離や二世帯住宅等は、全体で1世帯とみなし、同居人全てが低所得の場合に対象となります。
- *申請期間 10月5日(月)～30日(金)
- *申込み 左記申請書をご記入の上、地域の担当民生委員へお申込みください。
なお、担当民生委員が欠員の場合や担当民生委員が分からない場合は、坂戸市社会福祉協議会（電話：283-1597）へお問い合わせください。
(令和2年1月1日現在の住所が坂戸市外の場合は、前住所の市区町村発行の非課税証明書の添付が必要となります。)
- *その他
 - ・お米券は、12月中に担当民生委員等がお届けする予定です。
 - ・例年実施しているホームクリーニングは、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、中止とさせていただきます。

2 当事者団体支援事業

年末年始に市内で地域福祉交流事業を実施する団体を支援するために助成を行います。

- *対象団体 市内在住の障害児・者または疾病（難病）がある方々等が運営する団体
- *対象事業 令和2年11月1日～令和3年1月31日の間に実施する事業
〈例〉「研修会」「交流会」「もちつき大会」「クリスマス会」 など
- *助成金額 1団体：20,000円以内
- *申請期間 10月5日(月)～16日(金) 坂戸市社会福祉協議会まで

3 NPO法人、福祉施設歳末助成事業

地域ボランティアや民生委員・児童委員等との協働により、施設入所・通所者、地域住民の参加がある事業に対し助成を行います。

- *対象団体 市内のNPO法人・福祉施設
- *対象事業 令和2年11月1日～令和3年1月31日の間に実施する福祉事業
〈例〉施設入所・通所者と地域住民による「福祉のつどい」「講演会」「交流会」など
- *助成金額 1団体：事業費総額の3分の2以内、10万円を限度
- *申請期間 10月5日(月)～16日(金) 坂戸市社会福祉協議会まで

令和2年度 歳末慰問品申請書

申請者 氏 名

生年月日 大・昭・平 年 月 日()歳

希望に ○	品 目	対象世帯 (品目ごと、全て該当する世帯)
	お米券	・低所得世帯(住民税非課税) ※生活保護世帯は該当しません
×	ホームクリーニング	・新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、中止とさせていただきます。

令和2年度 歳末慰問品配布事業対象者確認同意書

坂戸市社会福祉協議会 会長 あて

申請者 住 所

(ふりがな)

氏 名



日中連絡がつく
電話番号

歳末慰問事業を受けるにあたって、対象者世帯要件の確認のため、住民基本台帳、市・県民税課税台帳、生活保護受給世帯であるかの調査・照会・閲覧することについて同意します。

記

※事業対象者の確認は、世帯構成員全ての課税状況を確認いたします。

また、住民票上の世帯分離や二世帯住宅等も、同居親族として、全体で1世帯とみなしますので、同居する世帯員全員を太枠内に記載してください。

※市区町村民税未申告の場合は、課税の有無を確認できないことから慰問品配布の対象になりませんので、ご注意ください。

世帯員の氏名	続 柄	生年月日	年 齢	備 考
		明・大・昭 平・令 年 月 日		
		明・大・昭 平・令 年 月 日		
		明・大・昭 平・令 年 月 日		
		明・大・昭 平・令 年 月 日		
		明・大・昭 平・令 年 月 日		
		明・大・昭 平・令 年 月 日		

注意 1.申請者及び15歳以上の世帯員の方は、本人による署名をお願いします。

2.民生委員が欠員の場合や分からない場合は、坂戸市社会福祉協議会(283-1597)にご連絡ください。

※次の部分は、民生委員が記入してください。

()民協

担当民生委員氏名

市民後見人養成講座

基礎編 受講者募集!

誰もが地域で安心して生活して暮らせることをめ
ざす地域福祉活動として、判断能力が十分ではない
人の生活を身近な立場で支援し、後見活動をおこなっ
ていく『市民後見人』を養成します。



坂戸市社会福祉協議会では、市
から委託を受け、市内で市民後見
人として活動できる方を対象とし
た市民後見人養成講座を開講します。



対象者

坂戸市内に在住、在勤、在学している方で、
市民後見人として活動できる20歳以上の方

定員

15名（先着順）

日程

令和2年11月から令和3年2月まで（原則、
土曜日又は日曜日の開催となります。）

申し込み方法

電話にて坂戸市社会福祉協議会にお申し込みください。
申し込み期間：令和2年10月5日（月）～11月2日（月）

費用

7,000円程度（テキスト代）

申込み・問合せ先

坂戸市社会福祉協議会 ☎049-283-1597

その他

養成講座の開催に当たっては、新型コロナウイルス
感染症の感染防止策を講じた上で開催することとい
たしますが、感染状況によっては、日程の変更等
を行う場合がございます。



出張心配ごと相談所



新型コロナウイルス感染症の影響で、2月から休んでいましたが、7月からはアルコール消毒などのコロナ対策を行いながら再開しているところです。

少し心配なことがあるけれど…誰に相談してよいかわからない方、誰かに話を聞いてもらいたい方など、お気軽にご相談ください。

相談まで少しお待ちいただくこともありますが、予約せずに無料で相談できます。

※相談される方はどちらの会場でも相談をお受けします。

開設場所	開設時間	開設月				
		10月	11月	12月	1月	2月
東坂戸団地(公団)集会所	午前9時30分~12時30分	6日(火)	24日(火)	1日(火)	5日(火)	2日(火)
坂戸市福祉センター	午前9時~12時	14日(水)	11日(水)	9日(水)	13日(水)	10日(水)
坂戸市文化施設オルモ	午前9時~12時	15日(木)	19日(木)	17日(木)	21日(木)	18日(木)
入西地域交流センター	午前9時~12時	23日(金)	27日(金)	25日(金)	22日(金)	26日(金)
大家公民館	午前9時~12時	12日(月)	9日(月)	14日(月)	25日(月)	8日(月)
西坂戸自治会館	午前9時~12時	21日(水)	18日(水)	16日(水)	20日(水)	17日(水)

※なお、令和3年3月18日(木)に坂戸市文化施設オルモで開設を予定しておりましたが、中止といたします。

皆さんからの善意

令和2年5月16日から
令和2年9月9日まで(順不同・敬称略)

【現金の部】

多和目 武藤 ¥16,252
 関口 泰男 ¥20,000
 坂戸山草会 ¥5,250
 匿名(2件) ¥150,000

【物品の部】

戸口歯科医院 車イス 1台
 匿名 オムツ・体拭き他

【令和2年7月豪雨災害義援金】

坂戸市生活と健康を守る会 ¥10,000
 山口 好江 ¥10,000

広告

就労移行支援事業所
Cocorport (ココルポート)
 公共交通機関を利用し通所される方
交通費応援制度
 Cocorportへ通所される方
ランチ応援制度
 障がいのある方へ、一から就労へ向け、サポートいたします。
 川越市には3つのOfficeがございます。障がいや就労経験に合わせ、ご希望のOfficeをご紹介。
 就労経験者・ブランクのある方
 発達障がい専門
 一から就労の準備をしたい方

川越Office 場所 川越市駒田本町16-20 森田ビル5階 TEL 049-257-4213	川越第2Office 場所 川越市菅原町20-25 シンザン2階 TEL 049-298-5623	川越第3Office 場所 川越市駒田本町16-20 森田ビル2階 TEL 049-255-3648
--	---	--

広告募集

ご覧の「はんど to はんど」へ掲載する広告を募集しています。

- ◆掲載方法 年3回発行「はんど to はんど」へ掲載
- ◆掲載規格 縦 50 mm × 横 90 mm
- ◆掲載料金 1号につき 1区画 15,000円

※その他詳細は坂戸市社会福祉協議会 ☎283-1597 まで

福祉教育・ボランティア学習を

応援しています



ふ…ふだんの
く…くらしの
し…しあわせ



筑波大学附属坂戸高等学校

新型コロナウイルス感染症の影響で休校の中、筑波大学附属坂戸高校ではオンライン授業を実施しており、6月2日(火)1年生167名を対象に、盲導犬ユーザーの井出茂樹さんに視覚障害や盲導犬についてオンラインでご講演いただきました。

井出さんからの質問に対し、生徒の皆さんは画面越しに音声で答えたり、チャットで回答したり、いつもの対面の講演と同じように活発なやりとりが見られました。

坂戸市社会福祉協議会では、これからの時代を担う児童・生徒に「ふ…ふだんのく…くらしのし…しあわせ」を理解してもらい「ともに生きる」実践力が育てられるように、市内小・中・高等学校等が取り組む福祉教育に対し、福祉機器の貸出しや情報提供(講師紹介)、また必要な費用を助成し福祉教育・ボランティア学習を応援しています!!

講師 井出さんより

今年新型コロナウイルス感染症の影響で講演の依頼はないと思っていたところに筑波大附属坂戸高校から依頼が入りました。オンラインでの講演は初めてのことで、いつものようにできるか不安もあり、一度は断ろうかとも考えましたが、たくさん先生の協力もあり、とても楽しく行うことができました。

後で生徒さんからの評判も良かったと報告を受け、思い切ってやって良かったです。

今回のようにオンラインであつても生の声が届けられる生きた福祉教育を坂戸全ての学校で実施できたらすばらしいと思います。



坂戸市立桜中学校

7月14日(火)3年生121名を対象に、福祉体験学習を行いました。密をさけるために、20名程度に分れ「聴覚障害について」「妊婦体験」「車いす体験」「点字体験」「盲導犬とふれあい体験」「ポッチャ体験」の体験等を行いました。

生徒の皆さんは、盲導犬ユーザーの方や車いすで生活されている当事者の方の講話、またたくさんの方のボランティアの方々にご協力をいただいた体験学習等を通して、気づいたことや発見したことから自分達にできることは何かを考えるきっかけになる授業になりました。



講師 初級障がい者スポーツ指導員 宮崎さん

ポッチャ体験 感想

楽しくパラリンピックのスポーツについて知る事ができました。障害

クリップボード CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・

さかどボランティア・市民活動センター

☎ 283-1597

☎ 289-3911



ボラ・市民活動センターからのお知らせ

1 「使用済み切手整理ボランティア」

使用済み切手を整理しながら、情報交換や仲間作りをしませんか？

◆ボランティアビューロー

日にち 10月22日(水)・11月26日(水)・
12月17日(水)・1月28日(水)・
2月25日(水)

時間 13:00~15:00

場所 坂戸市福祉センター

ボランティアビューロー(石井2327-6)

◆出張ボランティアサロン『北坂戸』

日にち 10月21日(水)・11月18日(水)・
12月16日(水)・1月20日(水)・
2月17日(水)

時間 10:00~11:30

場所 北坂戸にぎわいサロン東京電機大学
(溝端町1-4-106)

◆出張ボランティアサロン『ウエルシア鶴舞厚川店』

日にち 10月28日(水)・11月25日(水)・
12月16日(水)・1月27日(水)・
2月24日(水)

時間 10:00~11:30

場所 ウエルシア鶴舞厚川店(厚川58-4)

今年度は参加人数を制限させていただいていますので、参加希望の方はご連絡ください。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる場合があります。

申込み・問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

毎月、第4木曜日にボランティアの日とし開催しています「ボランティアサロン」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、年内は中止いたします。



◆次号(3月1日号)『CLIP BOARD』へ掲載を希望される場合は、さかどボランティア・市民活動センターへお持ちください。(締め切り:1月15日(金))

があってもボッチャのようなスポーツをできるのは大変良い事だと思います。とても難しかったですが非常に貴重な体験ができ、ボッチャを広めたいと思いました。

車いす体験 感想

車いすは段差が怖かったけど押ししてくれる人が声をかけてくれると少し安心できた。逆に押すときは相手に怖い思いをさせないようにゆっくりおしたり声をかけたりできた。実際に乗ってみて怖い所や危ない所が



講師 ボランティアグループ あしたば

わかり、今後気をつけたいと思った。

点字体験 感想

点字は今まで点字器で地道に打っていたけれど、今ではパソコンで簡単に打てることにびっくりしました。パソコンだと間違えても簡単に消すことができるので便利な時代になったと感じました。最近身近なところには点字があるので目の不自由な人にとってはありがたいことなんだと思います。



講師 点字グループ ひまわり会



『福祉であいの広場2020』中止のお知らせ！



『福祉であいの広場』は、心身に障害を持っている方やボランティア等の団体が協力して、『福祉であいの広場』を開催し、市民の福祉への理解と関心を深めるとともに、地域福祉の向上を図ることを目的として毎年開催しています。

坂戸市の福祉に関わる人々が一堂に会し、福

祉体験や展示、ステージで活動発表を行う他、バザーや模擬店の出店による開催を予定しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけて、令和2年度の『福祉であいの広場2020』の開催を中止と決定しました。

坂戸市内の福祉作業所の紹介



NPO ぽてとto地域福祉の会

ぽてと工房

就労継続支援B型事業所

授産品 クッキー、野菜（月・水・金）

地域の中で、ハンディを持つなかまが安心して仕事をし、社会活動できるように日中の支援サービスと授産活動（クッキー&ケーキ作り）の支援を行っています。



TEL 049-283-4294

住所 坂戸市千代田4-6-33
フラワーマンション106



坂戸市立勝呂福祉作業所

就労継続支援B型事業所

授産品 デコパージュせっけん、野菜

「坂戸市内にお住まいの方で、様々な理由から企業等で雇用契約を結んで働くことが困難な方へ、作業や活動に参加する機会を通して就労、自立へ向けての支援を行っています。」



TEL 049-283-5044

住所 坂戸市石井309-3



多機能型事業所 ラボリ

就労継続支援B型事業所

就労移行支援事業所

授産品 オリジナルコースター・キャンドルツリー
切絵グリーティングカード

ラボリは、10種類以上の中から作業訓練が行えて、自身にあった就労のイメージを支援してもらえるサービスです。毎日でも来たくなるほど楽しく仕事をしており、一般就労する事や、作業を自立して行う事をゴールにみんなが努力をする事業所です。注文はホームページからお待ちしています。



TEL 049-227-3115

住所 坂戸市薬師町
27-9-202

◇市内65歳以上の高齢者 29,703人 男13,564人 女16,139人 高齢化率29.6%（9月1日現在）